

(様式2)

管理運営状況等の評価シート(令和4年度分)

施設所管課 子ども家庭課

1 指定管理者施設概要

施設名	名称	上三川町放課後児童クラブ(8クラブ)		
	所在地	各学童のシートに記載		
指定管理者	名称	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		
	代表者名	代表取締役 山田 智治		
	住所	東京都調布市調布ヶ丘三丁目6番地3		
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日			

2 利用実績等

(1) 利用実績

① 登録者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R3(参考)
本郷小学童クラブ(30名)	42	42	42	42	42	42	44	44	44	44	44	44	516	467
本郷北小学童クラブ(60名)	83	83	83	83	83	83	83	83	84	84	84	84	1,000	966
上三川小学童クラブ(50名)	60	61	62	62	63	63	63	63	62	62	62	62	745	799
上三川小第2学童クラブ(90名)	106	107	107	107	107	108	108	108	107	107	107	108	1,287	916
坂上小学童クラブ(30名)	29	29	30	32	33	33	33	33	34	34	36	36	392	418
北小学童クラブ(70名)	74	75	76	80	81	82	82	82	82	81	81	81	957	738
明治小学童クラブ(60名)	59	60	65	65	65	65	65	65	66	65	65	64	769	494
南っ子学童クラブ(30名)	33	33	31	32	33	32	34	34	34	35	35	34	400	463
合計	486	490	496	503	507	508	512	512	513	512	514	513	6,066	5,261
増減の理由	一部登録者数が減少した学童(上三川小、坂上小、南っこ)もあるが、全体では大幅増。要因としては、1年生の申込み数の高止まりに加え、高学年の継続利用者の増加(長期休みや臨時の早い下校に備え、日額利用者として登録)が挙げられる。(主に上三川小第2、北小、明治)													

② 利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R3(参考)
本郷小学童クラブ(30名)	543	436	527	462	407	427	451	432	364	364	426	381	5,220	4,668
本郷北小学童クラブ(60名)	999	901	1,099	1,048	932	893	932	923	812	806	902	931	11,178	11,696
上三川小学童クラブ(50名)	786	768	946	796	651	769	755	773	707	604	675	738	8,968	8,908
上三川小第2学童クラブ(90名)	1,354	1,117	1,362	1,211	1,051	1,108	1,076	1,047	985	858	941	966	13,076	9,667
坂上小学童クラブ(30名)	470	467	538	489	352	519	517	547	481	419	547	506	5,852	6,113
北小学童クラブ(70名)	829	757	1,016	822	805	796	896	883	781	710	758	872	9,925	6,887
明治小学童クラブ(60名)	902	754	908	854	715	806	780	802	699	614	746	717	9,297	6,396
南っ子学童クラブ(30名)	269	245	298	267	207	223	210	240	206	178	234	223	2,800	3,794
合計	6,152	5,445	6,694	5,949	5,120	5,541	5,617	5,647	5,035	4,553	5,229	5,334	66,316	58,129
増減の理由	大幅増の要因として、登録者数の大幅な増加に加え、ワクチン接種等により利用控えが減少したこと、令和3年度に比べ学校・学級閉鎖等が減少したこと、保護者等のテレワークが減少したことが挙げられる。													

③ 開所日数

(単位:日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R3(参考)
本郷小学童クラブ(30名)	21	20	23	21	21	21	21	21	21	20	20	23	253	252
本郷北小学童クラブ(60名)	21	20	23	21	21	21	21	21	22	20	20	23	254	253
上三川小学童クラブ(50名)	23	21	24	23	22	22	22	22	22	21	21	24	267	267
上三川小第2学童クラブ(90名)	22	21	24	22	21	22	22	23	22	21	20	24	264	264
坂上小学童クラブ(30名)	21	20	23	21	21	21	21	21	21	20	20	23	253	252
北小学童クラブ(70名)	21	20	23	21	20	21	22	21	21	20	20	23	253	253
明治小学童クラブ(60名)	21	20	23	21	21	22	23	21	21	20	20	23	256	253
南っ子学童クラブ(30名)	21	20	23	21	21	21	21	21	21	20	20	23	253	253
合計	171	162	186	171	168	171	173	171	171	162	161	186	2,053	2,047
増減の理由	概ね前年度と同様である。													

(2) サービス改善の状況

令和4年度も引き続きコロナ対策として、検温・手洗い・手指消毒の徹底に加え、おやつ提供時は飛沫防止用シールドを使用。サービスの平等のひとつとして季節の壁面制作を全クラブ統一で実施し、誕生日やクリスマス、お別れ会についても統一のものを準備しました。また、アンケートの結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールアプリの活用も開始。短時間ではあるが、土曜開放(土曜保育として開所している日に2時間程度の一時預かり)を行い、多くの方に利用していただいている。

施設名	名 称	本郷小学童クラブ
	所在地	上三川町大字東蓼沼251番地

3 管理運営状況 (※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設・設備の維持管理	建物・設備の保守点検	A	「安全点検チェック表」や「退出時安全確認チェックリスト」を用いて毎日確認をしています。また「備品台帳」を使い、備品の管理も行っていきます。	A	・毎日の退出時の安全確認チェック等適切に行われている。 ・コロナ禍で、入退出時の消毒の徹底、共用物品の消毒作業等を行っており、おやつ時には、各児童に仕切り(シールド)を設置し、隣との飛沫を防ぐなど努力が見られた。
	備品の適切な管理	A		A	
	施設の衛生管理	A		A	
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	適切に利用許可証及び減免通知書を発行しています。	A	・ルールに則り、利用許可証及び減免通知書の発行業務が適切に行われている。
	適切な利用減免	A		A	
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	アンケート結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールを活用し、おたより配信などを始めた。また、短時間ではありますが土曜開放を行い、多くの方に利用して頂ける環境を提供しました。	S	・アンケートの結果を基に、利用者の意見に対して対応を行い、原因把握や改善に努めている。 ・お弁当の注文方法をLINEアプリを活用したものに変更した点や紙の通知等の配付を減らした点等、利用者ニーズへの対応に努めた点は評価できる。 ・利用者の利用状況を随時確認し、適切な利用形態となるよう個別に対応しており、また、利用児童の様子を保護者のお迎え時に伝えるよう心がけており、利用者に対する細やかな気遣いが見られる。 ・配慮が必要な児童について、積極的に学校と情報交換をしておき評価できる。
	利用者とのコミュニケーション	S	親子レクリエーションを実施し、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、要配慮児童の保護者とは個別面談を行い、連携を取っています。	S	
	個人情報の保護	A	入社時に個人情報の研修を行っています。また、定期的にテストを実施して、理解度を高め、全員で個人情報の適切な管理に取り組んでいます。	A	
	積極的な学校・地域との連携	S	学校と情報交換・共有をしています。また、おたよりも毎月届けています。長期休みに上子連の方をお呼びして、ハルーンアート教室を実施しました。	S	
	利用者満足度調査の実施	A	利用者アンケートを実施しました。	A	
事業の実施	「放課後児童クラブ運営指針」に基づく育成支援の実施	A	運営指針を理解し、指針に沿った育成支援を行っています。	A	・コロナ禍でありながら、クラブごとの創意工夫により自主事業を実施していた。屋内でも児童が楽しめるようオンラインでの工場見学を開催した点は、児童にとっても貴重な経験であり、評価できる。
	自主事業実施の効果	S	弊社本部企画のツールを使い、児童の遊び・学びに役立ちました。また、祖父母の方を招待し、感謝する会を行い、祖父母との交流も持てました。オンライン工場見学に参加し、普段行けない場所へ行く事が出来ました。	S	
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	関係法令を遵守した運営をしております。	A	・職員・管理体制については、基準に沿った実績である。 ・利用料金の徴収については、未納なしで適正に徴収されている。 ・危機管理マニュアルについて、一部実態に即していない箇所が見受けられたため、見直しの実施に努められた。 ・職員の研修については、独自ツール等を利用したオンラインでの研修等、各職員が各種研修を複数回受講しており、保育の向上に努めている。
	仕様書に規定された職員の配置	A		A	
	利用料金の徴収	A	適正に徴収しています。	A	
	危機管理体制の構築・安全対策の実施	A	危機管理マニュアルを配布し、職員に研修を行いました。	B	
	事業報告書等の提出	A		A	
	職員の研修	A	弊社動画ツールを用いた研修、外部研修を受講。また、外部講師による研修も行っています。	A	
収支状況	指定管理料の執行状況	A		A	・一元物流管理システムを活用し、経費削減等に努めている。 ・収支決算書について、経理書類と突合し、誤りのないように努められた。
	適切な経理書類の作成	A	計画予算に沿って、無駄のない効率的な運営を行っております。また、消耗品購入に際しダックスグループの一元物流システムを活用し、スケールメリットを発揮して経費削減を図っています。	B	
	伝票、通帳、印鑑等の適切な管理	A		A	
	収入及び支出額(収支決算の状況)	A		A	
	経費削減策の実施	A		A	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
	【努力した点・具体的な成果】 保護者アンケートの結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールアプリも導入した。親子レクリエーションの実施回数を増やした事で保護者との交流をより深められ、土曜開放を行い、より多くの方に学童を利用していただけた。		【評価すべき点】 ・保護者と良好な関係を築き、各利用者の個別の事情に合わせて、柔軟かつ適切に対応している。 ・利用者のニーズに対応するため、手続き面での改善に努めており評価できる。 ・コロナ禍ながら創意工夫をして、自主事業と職員研修の数を増やし、サービスの質の向上に努めており評価できる。	
【改善すべき点】 コロナ感染症対策が緩和されたので、体力増進を目指し、スポーツ系イベントを取り入れていきたいと思えます。また、支援員の統一した資質向上の為、講師を招いて全体研修を多く開催していきたい。物価高騰に伴い、無理のない範囲で節電対策も行っていきたいと思えます。		【改善指導すべき点】 ・各種マニュアルについて、実態にあったものにするよう都度見直しの実施をするよう改善に努めていただくとともに、適切な経理書類の作成に努めていただきたい。 ・アンケート回答にある、保育料支払いの電子決済の要望等、手続き面でのサービス向上について、利用者ニーズや事務の効率化等を考慮しながら検討するよう努めていただきたい。		

●評価基準(評価項目)

評価	評価基準
S	(優 良) 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	(良 好) 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	(課題含) 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	(要改善) 協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指します。

●判定基準(総合評価)

判定	判定基準
優 良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良 好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている

施設名	名称	本郷北小学童クラブ
	所在地	上三川町大字西汗1528番地1

3 管理運営状況 (※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設・設備の維持管理	建物・設備の保守点検	A	「安全点検チェック表」や「退出時安全確認チェックリスト」を用いて毎日確認をしています。また「備品台帳」を使い、備品の管理も行っていきます。	A	・毎日の退出時の安全確認チェック等適切に行われている。 ・コロナ禍で、入退出時の消毒の徹底、共用物品の消毒作業等を行っており、おやつ時には、各児童に仕切り(シールド)を設置し、隣との飛沫を防ぐなど努力が見られた。
	備品の適切な管理	A		A	
	施設の衛生管理	A		A	
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	適切に利用許可証及び減免通知書を発行しています。	A	・ルールに則り、利用許可証及び減免通知書の発行業務が適切に行われている。
	適切な利用減免	A		A	
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	アンケート結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールを活用し、おたより配信などを始めた。また、短時間ではありますが土曜開放を行い、多くの方に利用して頂ける環境を提供しました。	S	・アンケートの結果を基に、利用者の意見に対して対応を行い、原因把握や改善に努めている。 ・お弁当の注文方法をLINEアプリを活用したものに変更した点や紙の通知等の配付を減らした点等、利用者ニーズへの対応に努めた点は評価できる。 ・利用者の利用状況を随時確認し、適切な利用形態となるよう個別に対応しており、また、利用児童の様子を保護者のお迎え時に伝えるよう心がけており、利用者に対する細やかな気遣いが見られる。 ・配慮が必要な児童について、積極的に学校と情報交換をしており評価できる。
	利用者とのコミュニケーション	S	親子レクリエーションを実施し、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、要配慮児童の保護者とは個別面談を行い、連携を取っています。	S	
	個人情報の保護	A	入社時に個人情報の研修を行っています。また、定期的にテストを実施して、理解度を高め、全員で個人情報の適切な管理に取り組んでいます。	A	
	積極的な学校・地域との連携	S	学校と情報交換・共有をしています。また、おたよりも毎月届けています。地域ボランティアの方に折り紙教室をやっていただき交流を図りました。	S	
	利用者満足度調査の実施	A	利用者アンケートを実施しました。	A	
	事業の実施	「放課後児童クラブ運営指針」に基づく育成支援の実施	A	運営指針を理解し、指針に沿った育成支援を行っています。	
	自主事業実施の効果	S	弊社本部企画のツールを使い、児童の遊び・学びに役立てました。また「おりがみのまち上三川」を意識し、地域の方の折り紙教室を実施したり、親子木工教室を通して、保護者との交流を図りました。オンライン工場見学に参加し、普段行けない場所へ行く事が出来ました。	S	・コロナ禍でありながら、クラブごとの創意工夫により自主事業を実施していた。屋内でも児童が楽しめるようオンラインでの工場見学を開催した点は、児童にとっても貴重な経験であり、評価できる。
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	関係法令を遵守した運営をしております。	A	・職員・管理体制については、基準に沿った実績である。 ・利用料金の徴収について、未納なしで適正に徴収されている。 ・危機管理マニュアルについて、一部実態に即していない箇所が見受けられたため、見直しの実施に努められた。 ・職員の研修については、独自ツール等を利用したオンラインでの研修等、各職員が各種研修を複数回受講しており、保育の向上に努めている。
	仕様書に規定された職員の配置	A		A	
	利用料金の徴収	A	適正に徴収しています。	A	
	危機管理体制の構築・安全対策の実施	A	危機管理マニュアルを配布し、職員に研修を行いました。	B	
	事業報告書等の提出	A		A	
	職員の研修	A	弊社動画ツールを用いた研修、外部研修を受講。また、外部講師による研修も行っています。	A	
収支状況	指定管理料の執行状況	A		A	・一元物流管理システムを活用し、経費削減等に努めている。 ・収支決算書について、経理書類と突合し、誤りのないように努められた。
	適切な経理書類の作成	A	計画予算に沿って、無駄のない効率的な運営を行っております。また、消耗品購入に際しダックスグループの一元物流システムを活用し、スケールメリットを発揮して経費削減を図っています。	B	
	伝票、通帳、印鑑等の適切な管理	A		A	
	収入及び支出額(収支決算の状況)	A		A	
	経費削減策の実施	A		A	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
	〔努力した点・具体的な成果〕 保護者アンケートの結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールアプリも導入した。親子レクリエーションの実施回数を増やした事で保護者との交流をより深められ、土曜開放を行い、より多くの方に学童を利用していただけた。		〔評価すべき点〕 ・保護者と良好な関係を築き、各利用者の個別の事情に合わせて、柔軟かつ適切に対応している。 ・利用者のニーズに対応するため、手続き面での改善に努めており評価できる。 ・コロナ禍ながら創意工夫をして、自主事業と職員研修の数を増やし、サービスの質の向上に努めており評価できる。	
〔改善すべき点〕 コロナ感染症対策が緩和されたので、体力増進を目指し、スポーツ系イベントを取り入れていきたいと思えます。また、支援員の統一した資質向上の為、講師を招いて全体研修を多く開催していきたい。物価高騰に伴い、無理のない範囲で節電対策も行っていきたいと思えます。		〔改善指導すべき点〕 ・各種マニュアルについて、実態にあったものにするよう都度見直しの実施をするよう改善に努めていただくとともに、適切な経理書類の作成に努めていただきたい。 ・アンケート回答にある、保育料支払いの電子決済の要望等、手続き面でのサービス向上について、利用者ニーズや事務の効率化等を考慮しながら検討するよう努めていただきたい。		

●評価基準(評価項目)

評価	評価基準
S	(優良)協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	(良好)協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	(課題含)協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	(要改善)協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指します。

●判定基準(総合評価)

判定	判定基準
優良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている

施設名	名称	上三川小学童クラブ
	所在地	上三川町大字上蒲生45番地1

3 管理運営状況 (※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設・設備の維持管理	建物・設備の保守点検	A	「安全点検チェック表」や「退出時安全確認チェックリスト」を用いて毎日確認をしています。また「備品台帳」を使い、備品の管理も行っていきます。	A	・毎日の退出時の安全確認チェック等適切に行われている。 ・コロナ禍で、入退出時の消毒の徹底、共用物品の消毒作業等を行っており、おやつ時には、各児童に仕切り(シールド)を設置し、隣との飛沫を防ぐなど努力が見られる。
	備品の適切な管理	A		A	
	施設の衛生管理	A		A	
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	適切に利用許可証及び減免通知書を発行しています。	A	・ルールに則り、利用許可証及び減免通知書の発行業務が適切に行われている。
	適切な利用減免	A		A	
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	アンケート結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールを活用し、おたより配信などを始めた。また、短時間ではありますが土曜開放を行い、多くの方に利用して頂ける環境を提供しました。	S	・アンケートの結果を基に、利用者の意見に対して対応を行い、原因把握や改善に努めている。 ・お弁当の注文方法をLINEアプリを活用したものに変わった点や紙の通知等の配付を減らした点等、利用者ニーズへの対応に努めた点は評価できる。 ・利用者の利用状況を随時確認し、適切な利用形態となるよう個別に対応しており、また、利用児童の様子を保護者のお迎え時に伝えるよう心がけており、利用者に対する細やかな気遣いが見られる。 ・配慮の必要な児童について、積極的に学校と情報交換をしており評価できる。
	利用者とのコミュニケーション	S	親子レクリエーションの実施回数を増やし、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、要配慮児童の保護者とは個別面談を行い、連携を取っています。	S	
	個人情報の保護	A	入社時に個人情報の研修を行っています。また、定期的にテストを実施して、理解度を高め、全員で個人情報の適切な管理に取り組んでいます。	A	
	積極的な学校・地域との連携	S	月1回学校との情報交換を実施しています。また、おたよりも毎月お届けしています。ニュースポーツ教室を行い、地域との交流を図りました。	S	
	利用者満足度調査の実施	A	利用者アンケートを実施しました。	A	
事業の実施	「放課後児童クラブ運営指針」に基づく育成支援の実施	A	運営指針を理解し、指針に沿った育成支援を行っています。	A	・コロナ禍でありながら、クラブごとの創意工夫により自主事業を実施していた。また、コロナ禍を逆手に取り、他クラブとオンライン上で交流を図った点は、児童にとっても貴重な経験であり、評価できる。
	自主事業実施の効果	S	弊社本部企画のツールを使い、児童の遊び・学びに役立ちました。また、自治会の方へ感謝の気持ちをメッセージにしてお届けさせていただき、交流を図りました。Zoomを繋いで他クラブと交流を持ちました。	S	
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	関係法令を遵守した運営をしております。	A	・職員・管理体制については、基準に沿った実績である。 ・利用料金の徴収について、未納なしで適正に徴収されている。 ・危機管理マニュアルについて、一部実態に即していない箇所が見受けられたため、見直しの実施に努められた。 ・職員の研修については、独自ツール等を利用したオンラインでの研修等、各職員が各種研修を複数回受講しており、保育の向上に努めている。
	仕様書に規定された職員の配置	S	クラブが1年生のみのため、配置基準を上回って支援員を配置。年間を通して3人以上、年度当初は4人を配置している。	A	
	利用料金の徴収	A	適正に徴収しています。	A	
	危機管理体制の構築・安全対策の実施	A	危機管理マニュアルを配布し、職員に研修を行いました。	B	
	事業報告書等の提出	A		A	
	職員の研修	A	弊社動画ツールを用いた研修、外部研修を受講。また、外部講師による研修も行っています。	A	
収支状況	指定管理料の執行状況	A		A	・一元物流管理システムを活用し、経費削減等に努めている。 ・収支決算書について、経理書類と突合し、誤りのないよう努められた。
	適切な経理書類の作成	A	計画予算に沿って、無駄のない効率的な運営を行っています。また、消耗品購入に際しレンタックスグループの一元物流システムを活用し、スケールメリットを発揮して経費削減を図っています。	B	
	伝票、通帳、印鑑等の適切な管理	A		A	
	収入及び支出額(収支決算の状況)	A		A	
	経費節減策の実施	A		A	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
	〔努力した点・具体的な成果〕 保護者アンケートの結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールアプリも導入した。親子レクリエーションの実施回数を増やした事で保護者との交流をより深められ、土曜開放を行い、より多くの方に学童を利用していただけました。		〔評価すべき点〕 ・保護者と良好な関係を築き、各利用者の個別の事情に合わせて、柔軟かつ適切に対応している。 ・利用者のニーズに対応するため、手続き面での改善に努めており評価できる。 ・コロナ禍ながら創意工夫をして、自主事業と職員研修の数を増やし、サービスの質の向上に努めており評価できる。	
〔改善すべき点〕 コロナ感染症対策が緩和されたので、体力増進を目指し、スポーツ系イベントを取り入れていきたいと思っております。また、支援員の統一した資質向上の為、講師を招いて全体研修を多く開催していきたい。物価高騰に伴い、無理のない範囲で節電対策も行っていきたいと思っております。		〔改善指導すべき点〕 ・各種マニュアルについて、実態にあったものにするよう都度見直しの実施をするよう改善に努めていただくとともに、適切な経理書類の作成に努めていただきたい。 ・アンケート回答にある、保育料支払いの電子決済の要望等、手続き面でのサービス向上について、利用者ニーズや事務の効率化等を考慮しながら検討するよう努めていただきたい。		

●評価基準(評価項目)

評価	評価基準
S	(優良) 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	(良好) 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	(課題含) 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	(要改善) 協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指します。

●判定基準(総合評価)

判定	判定基準
優良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている

施設名	名称	上三川小第2学童クラブ
	所在地	上三川町しらさぎ一丁目22番地3

3 管理運営状況 (※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設・設備の維持管理	建物・設備の保守点検	A	「安全点検チェック表」や「退出時安全確認チェックリスト」を用いて毎日確認をしています。また「備品台帳」を使い、備品の管理も行っていきます。	A	・毎日の退出時の安全確認チェック等適切に行われている。 ・コロナ禍で、入退出時の消毒の徹底、共用物品の消毒作業等を行っており、おやつ時には、各児童に仕切り(シールド)を設置し、隣との飛沫を防ぐなど努力が見られた。
	備品の適切な管理	A		A	
	施設の衛生管理	A		A	
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	適切に利用許可証及び減免通知書を発行しています。	A	・ルールに則り、利用許可証及び減免通知書の発行業務が適切に行われている。
	適切な利用減免	A		A	
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	アンケート結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールを活用し、おたより配信などを始めた。また、短時間ではありますが、土曜開放を行い、多くの方に利用して頂ける環境を提供しました。	S	・アンケートの結果を基に、利用者の意見に対して対応を行い、原因把握や改善に努めている。 ・お弁当の注文方法をLINEアプリを活用したものに変更した点や紙の通知等の配付を減らした点等、利用者ニーズへの対応に努めた点は評価できる。 ・利用者の利用状況を随時確認し、適切な利用形態となるよう個別に対応しており、また、利用児童の様子を保護者のお迎え時に伝えるよう心がけており、利用者に対する細やかな気遣いが見られる。 ・配慮が必要な児童について、積極的に学校と情報交換をしており評価できる。
	利用者とのコミュニケーション	S	親子レクリエーションの実施回数を増やし、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、要配慮児童の保護者とは個別面談を行い、連携を取っています。	S	
	個人情報の保護	A	入社時に個人情報の研修を行っています。また、定期的にテストを実施して、理解度を高め、全員で個人情報の適切な管理に取り組んでいます。	A	
	積極的な学校・地域との連携	S	月1回学校との情報交換を実施しています。また、おたよりも毎月お届けしています。ニュースポーツ教室を行い、地域との交流を図りました。	S	
	利用者満足度調査の実施	A	利用者アンケートを実施しました。	A	
	事業の実施	「放課後児童クラブ運営指針」に基づく育成支援の実施	A	運営指針を理解し、指針に沿った育成支援を行っています。	
	自主事業実施の効果	S	弊社本部企画のツールを使い、児童の遊び・学びに役立てました。また、オンライン工場見学に参加し、普段行けない場所へ行く事も出来ました。Zoomを繋いで他クラブと交流も持ちました。	S	
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	関係法令を遵守した運営をしております。	A	・職員・管理体制については、基準に沿った実績である。 ・利用料金の徴収について、未納なしで適正に徴収されている。 ・危機管理マニュアルについて、一部実態に即していない箇所が見受けられたため、見直しの実施に努められた。 ・職員の研修については、独自ツール等を利用したオンラインでの研修等、各職員が各種研修を複数回受講しており、保育の向上に努めている。
	仕様書に規定された職員の配置	A		A	
	利用料金の徴収	A	適正に徴収しています。	A	
	危機管理体制の構築・安全対策の実施	A	危機管理マニュアルを配布し、職員に研修を行いました。	B	
	事業報告書等の提出	A		A	
	職員の研修	A	弊社動画ツールを用いた研修、外部研修を受講。また、外部講師による研修も行っています。	A	
収支状況	指定管理料の執行状況	A		A	・一元物流管理システムを活用し、経費削減等に努めている。 ・収支決算書について、経理書類と突合し、誤りのないように努められた。
	適切な経理書類の作成	A	計画予算に沿って、無駄のない効率的な運営を行っております。また、消耗品購入に際しダックスグループの一元物流システムを活用し、スケールメリットを発揮して経費削減を図っています。	B	
	伝票、通帳、印鑑等の適切な管理	A		A	
	収入及び支出額(収支決算の状況)	A		A	
	経費削減策の実施	A		A	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
	〔努力した点・具体的な成果〕 保護者アンケートの結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールアプリも導入した。親子レクリエーションの実施回数を増やした事で保護者との交流をより深められ、土曜開放を行い、より多くの方に学童を利用していただけた。		〔評価すべき点〕 ・保護者と良好な関係を築き、各利用者の個別の事情に合わせて、柔軟かつ適切に対応している。 ・利用者のニーズに対応するため、手続き面での改善に努めており評価できる。 ・コロナ禍ながら創意工夫をして、自主事業と職員研修の数を増やし、サービスの質の向上に努めており評価できる。	
〔改善すべき点〕 コロナ感染症対策が緩和されたので、体力増進を目指し、スポーツ系イベントを取り入れていきたいと思えます。また、支援員の統一した資質向上の為、講師を招いて全体研修を多く開催していきたい。物価高騰に伴い、無理のない範囲で節電対策も行っていきたいと思えます。		〔改善指導すべき点〕 ・各種マニュアルについて、実態にあったものにするよう都度見直しの実施をするよう改善に努めていただくとともに、適切な経理書類の作成に努めていただきたい。 ・アンケート回答にある、保育料支払いの電子決済の要望等、手続き面でのサービス向上について、利用者ニーズや事務の効率化等を考慮しながら検討するよう努めていただきたい。		

●評価基準(評価項目)

評価	評価基準
S	(優 良) 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	(良 好) 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	(課題含) 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	(要改善) 協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指します。

●判定基準(総合評価)

判定	判定基準
優 良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良 好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている

施設名	名称	坂上小学童クラブ
	所在地	上三川町大字坂上628番地

3 管理運営状況 (※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設・設備の維持管理	建物・設備の保守点検	A	「安全点検チェック表」や「退出時安全確認チェックリスト」を用いて毎日確認をしています。また「備品台帳」を使い、備品の管理も行っていきます。	A	・毎日の退出時の安全確認チェック等適切に行われている。 ・コロナ禍で、入退出時の消毒の徹底、共用物品の消毒作業等を行っており、おやつ時には、各児童に仕切り(シールド)を設置し、隣との飛沫を防ぐなど努力が見られた。
	備品の適切な管理	A			
	施設の衛生管理	A			
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	適切に利用許可証及び減免通知書を発行しています。	A	・ルールに則り、利用許可証及び減免通知書の発行業務が適切に行われている。
	適切な利用減免	A			
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	アンケート結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールを活用し、おたより配信などを始めた。また、短時間ではあります土曜開放を行い、多くの方に利用して頂ける環境を提供しました。	S	・アンケートの結果を基に、利用者の意見に対して対応を行い、原因把握や改善に努めている。 ・お弁当の注文方法をLINEアプリを活用したものに変更した点や紙の通知等の配付を減らした点等、利用者ニーズへの対応に努めた点は評価できる。 ・利用者の利用状況を随時確認し、適切な利用形態となるよう個別に対応しており、また、利用児童の様子を保護者様のお迎え時に伝えるよう心がけており、利用者に対する細やかな気遣いが見られる。 ・配慮が必要な児童について、積極的に学校と情報交換をしており評価できる。 ・アンケートにより、支援員の対応が不適切との回答があったため、原因の分析、保育の改善に努められた。
	利用者とのコミュニケーション	S	親子レクリエーションを実施し、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、要配慮児童の保護者とは個別面談を行い、連携を取っています。	A	
	個人情報の保護	A	入社時に個人情報の研修を行っています。また、定期的にテストを実施して、理解度を高め、全員で個人情報の適切な管理に取り組んでいます。	A	
	積極的な学校・地域との連携	A	学校との情報交換を実施しています。また、おたよりも毎月お届けしています。	A	
	利用者満足度調査の実施	A	利用者アンケートを実施しました。	A	
事業の実施	「放課後児童クラブ運営指針」に基づく育成支援の実施	A	運営指針を理解し、指針に沿った育成支援を行っています。	A	・コロナ禍でありながら、クラブごとの創意工夫により自主事業を実施していた。屋内でも児童が楽しめるようオンラインでの工場見学を開催した点は、児童にとっても貴重な経験であり、評価できる。
	自主事業実施の効果	S	弊社本部企画のツールを使い、児童の遊び・学びに役立てました。また、オンライン工場見学に参加し、普段行けない場所へ行く事も出来ました。親子レクリエーションを通して保護者との交流を図る事が出来ました。	S	
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	関係法令を遵守した運営をしております。	A	・職員・管理体制については、基準に沿った実績である。 ・利用料金の徴収について、未納なしで適正に徴収されている。 ・危機管理マニュアルについて、一部実態に即していない箇所が見受けられたため、見直しの実施に努められた。 ・職員の研修については、独自ツール等を利用したオンラインでの研修等、各職員が各種研修を複数回受講しており、保育の向上に努めている。
	仕様書に規定された職員の配置	A		A	
	利用料金の徴収	A	適正に徴収しています。	A	
	危機管理体制の構築・安全対策の実施	A	危機管理マニュアルを配布し、職員に研修を行いました。	B	
	事業報告書等の提出	A		A	
	職員の研修	A	弊社動画ツールを用いた研修、外部研修を受講。また、外部講師による研修も行っています。	A	
収支状況	指定管理料の執行状況	A		A	・一元物流管理システムを活用し、経費削減等に努めている。 ・収支決算書について、経理書類と突合し、誤りのないよう努められた。
	適切な経理書類の作成	A	計画予算に沿って、無駄のない効率的な運営を行っております。また、消耗品購入に際しシダックスグループの一元物流システムを活用し、スケールメリットを発揮して経費削減を図っています。	B	
	伝票、通帳、印鑑等の適切な管理	A		A	
	収入及び支出額(収支決算の状況)	A		A	
	経費削減策の実施	A		A	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
	〔努力した点・具体的な成果〕 保護者アンケートの結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールアプリも導入した。親子レクリエーションの実施回数が増やした事で保護者との交流をより深められ、土曜開放を行い、より多くの方に学童を利用していただけた。		〔評価すべき点〕 ・保護者と良好な関係を築き、各利用者の個別の事情に合わせて、柔軟かつ適切に対応している。 ・利用者のニーズに対応するため、手続き面での改善に努めており評価できる。 ・コロナ禍ながら創意工夫をして、自主事業と職員研修の数を増やし、サービスの質の向上に努めており評価できる。	
〔改善すべき点〕 コロナ感染症対策が緩和されたので、体力増進を目指し、スポーツ系イベントを取り入れていきたいと思えます。また、支援員の統一した資質向上の為、講師を招いて全体研修を多く開催していきたい。物価高騰に伴い、無理のない範囲で節電対策も行っていきたいと思えます。		〔改善指導すべき点〕 ・各種マニュアルについて、実態にあったものにするよう都度見直しの実施をするよう改善に努めていただくとともに、適切な経理書類の作成に努めていただきたい。 ・アンケート回答にある、保育料支払いの電子決済の要望等、手続き面でのサービス向上について、利用者ニーズや事務の効率化等を考慮しながら検討するよう努めていただきたい。		

●評価基準(評価項目)

評価	評価基準
S	(優 良) 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	(良 好) 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	(課題含) 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	(要改善) 協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指します。

●判定基準(総合評価)

判定	判定基準
優 良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良 好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている

施設名	名称	明治小学童クラブ
	所在地	上三川町大字大山558番地8

3 管理運営状況 (※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設・設備の維持管理	建物・設備の保守点検	A	「安全点検チェック表」や「退出時安全確認チェックリスト」を用いて毎日確認をしています。また「備品台帳」を使い、備品の管理も行っていきます。	A	・毎日の退出時の安全確認チェック等適切に行われている。 ・コロナ禍で、入退出時の消毒の徹底、共用物品の消毒作業等を行っており、おやつ時には、各児童に仕切り(シールド)を設置し、隣との飛沫を防ぐなど努力が見られた。
	備品の適切な管理	A			
	施設の衛生管理	A			
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	適切に利用許可証及び減免通知書を発行しています。	A	・ルールに則り、利用許可証及び減免通知書の発行業務が適切に行われている。
	適切な利用減免	A			
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	アンケート結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールを活用し、おたより配信などを始めた。また、短時間ではありますが土曜開放を行い、多くの方に利用して頂ける環境を提供しました。	S	・アンケートの結果を基に、利用者の意見に対して対応を行い、原因把握や改善に努めている。 ・お弁当の注文方法をLINEアプリを活用したものに変更した点や紙の通知等の配付を減らした点等、利用者ニーズへの対応に努めた点は評価できる。 ・利用者の利用状況を随時確認し、適切な利用形態となるよう個別に対応しており、また、利用児童の様子を保護者のお迎え時に伝えるよう心がけており、利用者に対する細やかな気遣いが見られる。 ・配慮が必要な児童について、積極的に学校と情報交換をしており評価できる。 ・アンケートにより、支援員の対応が高任的との回答があったため、原因の分析、保育の改善に努められた。
	利用者とのコミュニケーション	S	親子レクリエーションを実施し、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、要配慮児童の保護者とは個別面談を行い、連携を取っています。	A	
	個人情報の保護	A	入社時に個人情報の研修を行っています。また、定期的にテストを実施して、理解度を高め、全員で個人情報の適切な管理に取り組んでいます。	A	
	積極的な学校・地域との連携	S	学校と情報交換・共有をしています。また、おたよりも毎月届けています。また「おりがみのまち上三川」を意識し、ORIGAMIフェスティバルに作品を出展しました。	S	
	利用者満足度調査の実施	A	利用者アンケートを実施しました。	A	
	事業の実施	「放課後児童クラブ運営指針」に基づく育成支援の実施	A	運営指針を理解し、指針に沿った育成支援を行っています。	
	自主事業実施の効果	S	弊社本部企画のツールを使い、児童の遊び・学びに役立てました。また、オンライン工場見学に参加し、普段行けない場所へ行く事も出来ました。親子木工教室を実施し、保護者との交流を図りました。	S	
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	関係法令を遵守した運営をしております。	A	・職員・管理体制については、基準に沿った実績である。 ・利用料金の徴収について、未納なしで適正に徴収されている。 ・危機管理マニュアルについて、一部実態に即していない箇所が見受けられたため、見直しの実施に努められた。 ・職員の研修については、独自ツール等を利用したオンラインでの研修等、各職員が各種研修を複数回受講しており、保育の向上に努めている。
	仕様書に規定された職員の配置	A		A	
	利用料金の徴収	A	適正に徴収しています。	A	
	危機管理体制の構築・安全対策の実施	A	危機管理マニュアルを配布し、職員に研修を行いました。	B	
	事業報告書等の提出	A		A	
	職員の研修	A	弊社動画ツールを用いた研修、外部研修を受講。また、外部講師による研修も行っています。	A	
収支状況	指定管理料の執行状況	A		A	・一元物流管理システムを活用し、経費削減等に努めている。 ・収支決算書について、経理書類と突合し、誤りのないよう努められた。
	適切な経理書類の作成	A	計画予算に沿って、無駄のない効率的な運営を行っております。また、消耗品購入に際しダックスグループの一元物流システムを活用し、スケールメリットを発揮して経費削減を図っています。	B	
	伝票、通帳、印鑑等の適切な管理	A		A	
	収入及び支出額(収支決算の状況)	A		A	
	経費節減策の実施	A		A	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
	〔努力した点・具体的な成果〕 保護者アンケートの結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールアプリも導入した。親子レクリエーションの実施回数を増やした事で保護者との交流をより深められ、土曜開放を行い、より多くの方に学童を利用していただけた。		〔評価すべき点〕 ・保護者と良好な関係を築き、各利用者の個別の事情に合わせて、柔軟かつ適切に対応している。 ・利用者のニーズに対応するため、手続き面での改善に努めており評価できる。 ・コロナ禍ながら創意工夫をして、自主事業と職員研修の数を増やし、サービスの質の向上に努めており評価できる。	
〔改善すべき点〕 コロナ感染症対策が緩和されたので、体力増進を目指し、スポーツ系イベントを取り入れていきたいと思えます。また、支援員の統一した資質向上の為、講師を招いて全体研修を多く開催していきたい。物価高騰に伴い、無理のない範囲で節電対策も行っていきたいと思えます。		〔改善指導すべき点〕 ・各種マニュアルについて、実態にあったものにするよう都度見直しの実施をするよう改善に努めていただくとともに、適切な経理書類の作成に努めていただきたい。 ・アンケート回答にある、保育料支払いの電子決済の要望等、手続き面でのサービス向上について、利用者ニーズや事務の効率化等を考慮しながら検討するよう努めていただきたい。		

●評価基準(評価項目)

評価	評価基準
S	(優 良) 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	(良 好) 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	(課題含) 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	(要改善) 協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指します。

●判定基準(総合評価)

判定	判定基準
優 良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良 好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている

施設名	名称	南っ子学童クラブ
	所在地	上三川町大字多功1412番地

3 管理運営状況 (※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設・設備の維持管理	建物・設備の保守点検	A	「安全点検チェック表」や「退出時安全確認チェックリスト」を用いて毎日確認をしています。また「備品台帳」を使い、備品の管理も行っていきます。	A	・毎日の退出時の安全確認チェック等適切に行われている。 ・コロナ禍で、入退出時の消毒の徹底、共用物品の消毒作業等を行っており、おやつ時には、各児童に仕切り(シールド)を設置し、隣との飛沫を防ぐなど努力が見られた。
	備品の適切な管理	A		A	
	施設の衛生管理	A		A	
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	適切に利用許可証及び減免通知書を発行しています。	A	・ルールに則り、利用許可証及び減免通知書の発行業務が適切に行われている。
	適切な利用減免	A		A	
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	アンケート結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールを活用し、おたより配信などを始めた。また、短時間ではありますが土曜開放を行い、多くの方に利用して頂ける環境を提供しました。	S	・アンケートの結果を基に、利用者の意見に対して対応を行い、原因把握や改善に努めている。 ・お弁当の注文方法をLINEアプリを活用したものに変更した点や紙の通知等の配付を減らした点等、利用者ニーズへの対応に努めた点は評価できる。 ・利用者の利用状況を随時確認し、適切な利用形態となるよう個別に対応しており、また、利用児童の様子を保護者のお迎え時に伝えるよう心がけており、利用者に対する細やかな気遣いが見られる。 ・配慮が必要な児童について、積極的に学校と情報交換をしており評価できる。
	利用者とのコミュニケーション	S	親子レクリエーションを実施し、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、要配慮児童の保護者とは個別面談を行い、連携を取っています。	S	
	個人情報の保護	A	入社時に個人情報の研修を行っています。また、定期的にテストを実施して、理解度を高め、全員で個人情報の適切な管理に取り組んでいます。	A	
	積極的な学校・地域との連携	A	学校との情報交換を実施しています。また、おたよりも毎月お届けしています。	A	
	利用者満足度調査の実施	A	利用者アンケートを実施しました。	A	
	事業の実施	「放課後児童クラブ運営指針」に基づく育成支援の実施	A	運営指針を理解し、指針に沿った育成支援を行っています。	
	自主事業実施の効果	S	弊社本部企画のツールを使い、児童の遊び・学びに役立てました。また、オンライン工場見学に参加し、普段行けない場所へ行く事も出来ました。親子レクリエーションを通して保護者との交流を図る事が出来ました。	S	
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	関係法令を遵守した運営をしております。	A	・職員・管理体制については、基準に沿った実績である。 ・利用料金の徴収について、未納なしで適正に徴収されている。 ・危機管理マニュアルについて、一部実態に即していない箇所が見受けられたため、見直しの実施に努められた。 ・職員の研修については、独自ツール等を利用したオンラインでの研修等、各職員が各種研修を複数回受講しており、保育の向上に努めている。
	仕様書に規定された職員の配置	A		A	
	利用料金の徴収	A	適正に徴収しています。	A	
	危機管理体制の構築・安全対策の実施	A	危機管理マニュアルを配布し、職員に研修を行いました。	B	
	事業報告書等の提出	A		A	
	職員の研修	A	弊社動画ツールを用いた研修、外部研修を受講。また、外部講師による研修も行っています。	A	
収支状況	指定管理料の執行状況	A		A	・一元物流管理システムを活用し、経費削減等に努めている。 ・収支決算書について、経理書類と突合し、誤りのないよう努められた。
	適切な経理書類の作成	A	計画予算に沿って、無駄のない効率的な運営を行っております。また、消耗品購入に際しダックスグループの一元物流システムを活用し、スケールメリットを発揮して経費削減を図っています。	B	
	伝票、通帳、印鑑等の適切な管理	A		A	
	収入及び支出額(収支決算の状況)	A		A	
	経費削減策の実施	A		A	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
	〔努力した点・具体的な成果〕 保護者アンケートの結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールアプリも導入した。親子レクリエーションの実施回数を増やした事で保護者との交流をより深められ、土曜開放を行い、より多くの方に学童を利用していただけた。		〔評価すべき点〕 ・保護者と良好な関係を築き、各利用者の個別の事情に合わせて、柔軟かつ適切に対応している。 ・利用者のニーズに対応するため、手続き面での改善に努めており評価できる。 ・コロナ禍ながら創意工夫をして、自主事業と職員研修の数を増やし、サービスの質の向上に努めており評価できる。	
〔改善すべき点〕 コロナ感染症対策が緩和されたので、体力増進を目指し、スポーツ系イベントを取り入れていきたいと思えます。また、支援員の統一した資質向上の為、講師を招いて全体研修を多く開催していきたい。物価高騰に伴い、無理のない範囲で節電対策も行っていきたいと思えます。		〔改善指導すべき点〕 ・各種マニュアルについて、実態にあったものにするよう都度見直しの実施をするよう改善に努めていただくとともに、適切な経理書類の作成に努めていただきたい。 ・アンケート回答にある、保育料支払いの電子決済の要望等、手続き面でのサービス向上について、利用者ニーズや事務の効率化等を考慮しながら検討するよう努めていただきたい。		

●評価基準(評価項目)

評価	評価基準
S	(優良)協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	(良好)協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	(課題含)協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	(要改善)協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指します。

●判定基準(総合評価)

判定	判定基準
優良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている

施設名	名称	北小学童クラブ
	所在地	上三川町大字上蒲生1725番地

3 管理運営状況 (※項目、評価内容は施設の状況等に応じ修正することとする)

項目	評価内容	指定管理者		施設所管課	
		自己評価	評価意見	評価	評価意見
施設・設備の維持管理	建物・設備の保守点検	A		A	・毎日の退出時の安全確認チェック等適切に行われている。
	備品の適切な管理	A	「安全点検チェック表」や「退出時安全確認チェックリスト」を用いて毎日確認をしています。また「備品台帳」を使い、備品の管理も行っていきます。	A	・コロナ禍で、入退出時の消毒の徹底、共用物品の消毒作業等を行っており、おやつ時には、各児童に仕切り(シールド)を設置し、隣の飛沫を防ぐなど努力が見られた。
	施設の衛生管理	A		A	
平等な利用の確保	適切な利用許可	A	適切に利用許可証及び減免通知書を発行しています。	A	・ルールに則り、利用許可証及び減免通知書の発行業務が適切に行われている。
	適切な利用減免	A		A	
利用者サービス向上の取組み	利用者のニーズに応じたサービスの提供	S	アンケート結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールを活用し、おたより配信などを始めた。また、短時間ではありますが土曜開放を行い、多くの方に利用して頂ける環境を提供しました。	S	
	利用者とのコミュニケーション	S	親子レクリエーションを実施し、保護者とのコミュニケーションを図っています。また、要配慮児童の保護者とは個別面談を行い、連携を取っています。	S	・アンケートの結果を基に、利用者の意見に対して対応を行い、原因把握や改善に努めている。
	個人情報の保護	A	入社時に個人情報の研修を行っています。また、定期的にテストを実施して、理解度を高め、全員で個人情報の適切な管理に取り組んでいます。	A	・お弁当の注文方法をLINEアプリを活用したものに変更した点や紙の通知等の配付を減らした点等、利用者ニーズへの対応に努めた点は評価できる。
	積極的な学校・地域との連携	S	学校との情報交換を実施しています。また、おたよりも毎月お届けしています。親子レクリエーションの際は、学校体育館をお借りして実施しました。また「おりがみのまち上三川」を意識し、団体選手のおもてなし折り紙に参加しました。	S	・利用者の利用状況を随時確認し、適切な利用形態となるよう個別に対応しており、また、利用児童の様子を保護者のお迎え時に伝えるよう心がけており、利用者に対する細やかな気遣いが見られる。
	利用者満足度調査の実施	A	利用者アンケートを実施しました。	A	・配慮が必要な児童について、積極的に学校と情報交換をしており評価できる。
事業の実施	「放課後児童クラブ運営指針」に基づく育成支援の実施	A	運営指針を理解し、指針に沿った育成支援を行っています。	A	
	自主事業実施の効果	S	弊社本部企画のツールを使い、児童の遊び・学びに役立てました。また、オンライン工場見学に参加し、普段行けない場所へ行く事も出来ました。親子レクリエーションを通して保護者との交流を図る事が出来ました。	S	・コロナ禍でありながら、クラブごとの創意工夫により自主事業を実施していた。屋内でも児童が楽しめるようオンラインでの工場見学を開催した点は、児童にとっても貴重な経験であり、評価できる。
職員・管理体制	関係法令等の遵守	A	関係法令を遵守した運営をしております。	A	
	仕様書に規定された職員の配置	A		A	・職員・管理体制については、基準に沿った実績である。
	利用料金の徴収	A	適正に徴収しています。	A	・利用料金の徴収について、未納なしで適正に徴収されている。
	危機管理体制の構築・安全対策の実施	A	危機管理マニュアルを配布し、職員に研修を行いました。	B	・危機管理マニュアルについて、一部実態に即していない箇所が見受けられたため、見直しの実施に努められた。
	事業報告書等の提出	A		A	・職員の研修については、独自ツール等を利用したオンラインでの研修等、各職員が各種研修を複数回受講しており、保育の向上に努めている。
	職員の研修	A	弊社動画ツールを用いた研修、外部研修を受講。また、外部講師による研修も行っています。	A	
収支状況	指定管理料の執行状況	A		A	
	適切な経理書類の作成	A	計画予算に沿って、無駄のない効率的な運営を行っております。また、消耗品購入に際しシダックスグループの一元物流システムを活用し、スケールメリットを発揮して経費節減を図っています。	B	・一元物流管理システムを活用し、経費節減等に努めている。
	伝票、通帳、印鑑等の適切な管理	A		A	・収支決算書について、経理書類と突合し、誤りのないよう努められた。
	収入及び支出額(収支決算の状況)	A		A	
	経費節減策の実施	A		A	

総合評価	指定管理者		施設所管課	
	総合判定	良好	総合判定	良好
	〔努力した点・具体的な成果〕 保護者アンケートの結果を基にお弁当の注文方法をアプリに変更し、緊急連絡ツールアプリも導入した。親子レクリエーションの実施回数を増やした事で保護者との交流をより深められ、土曜開放を行い、より多くの方に学童を利用していただけました。		〔評価すべき点〕 ・保護者と良好な関係を築き、各利用者の個別の事情に合わせて、柔軟かつ適切に対応している。 ・利用者のニーズに対応するため、手続き面での改善に努めており評価できる。 ・コロナ禍ながら創意工夫をして、自主事業と職員研修の数を増やし、サービスの質の向上に努めており評価できる。	
〔改善すべき点〕 コロナ感染症対策が緩和されたので、体力増進を目指し、スポーツ系イベントを取り入れていきたいと思っております。また、支援員の統一した資質向上の為、講師を招いて全体研修を多く開催していきたい。物価高騰に伴い、無理のない範囲で節電対策も行っていきたいと思っております。		〔改善指導すべき点〕 ・各種マニュアルについて、実態にあったものにするよう都度見直しの実施をするよう改善に努めていただくとともに、適切な経理書類の作成に努めていただきたい。 ・アンケート回答にある、保育料支払いの電子決済の要望等、手続き面でのサービス向上について、利用者ニーズや事務の効率化等を考慮しながら検討するよう努めていただきたい。		

●評価基準(評価項目)

評価	評価基準
S	(優 良) 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容であり、管理運営や利用者サービス等の向上において十分な成果が確認できる。
A	(良 好) 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
B	(課題含) 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
C	(要改善) 協定書等の基準が遵守されておらず、改善の必要な内容である

※協定書等とは、協定書、仕様書及び年度計画書等を指します。

●判定基準(総合評価)

判定	判定基準
優 良	すべてがA以上であり、Sが4割以上である
良 好	8割以上がA以上である
課題含	すべてB以上である
要改善	評価項目にCがふくまれている